

C-Fit の設定 (ジョブチケット、ライセンスなど) のバックアップ方法

HD 等の故障に備えて、バックアップファイルは CD-R/DVD-R 等の外部メディアへの保存を推奨します。

1. V5 以前

C:\Program Files\iColorQC フォルダごとバックアップします。

(通常は、Cドライブにインストールされていますが、違う場所にインストールされていることもあります)

ファイル容量が大きい場合には、ジョブキュー上のジョブを削除します。

それでも大きい場合には、以下のフォルダをバックアップします。

C:\Program Files\iColorQC\data

2. V5.1 以降

上記方法の他に、リストアツールが使えます。

■ バックアップ操作手順

① V5.1 の場合は、C:\Program Files\iColorQC\bin3 内の RestoreTool.exe をダブルクリックします。

② V5.1.1 の場合は、スタートメニューから「環境設定保存・呼び出し」を起動します。

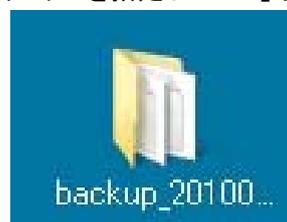
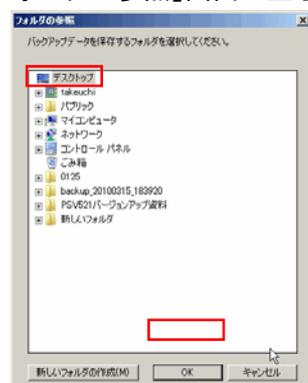


③ 「環境設定保存・呼び出し」画面が立ち上がります。

ここで画面左上にある「エクスポート開始」ボタンをクリックします。



④ 「フォルダの参照」画面が立ち上がりますのでデスクトップを指定して「OK」ボタンをクリックします。



バックアップフォルダがデスクトップ上に作成されます。
このファイルを CD 等の外部メディアにて保管して頂く事で、万が一 C-Fit の再インストールが必要になった場合、ジョブチケットの復旧を行うことが可能となります。

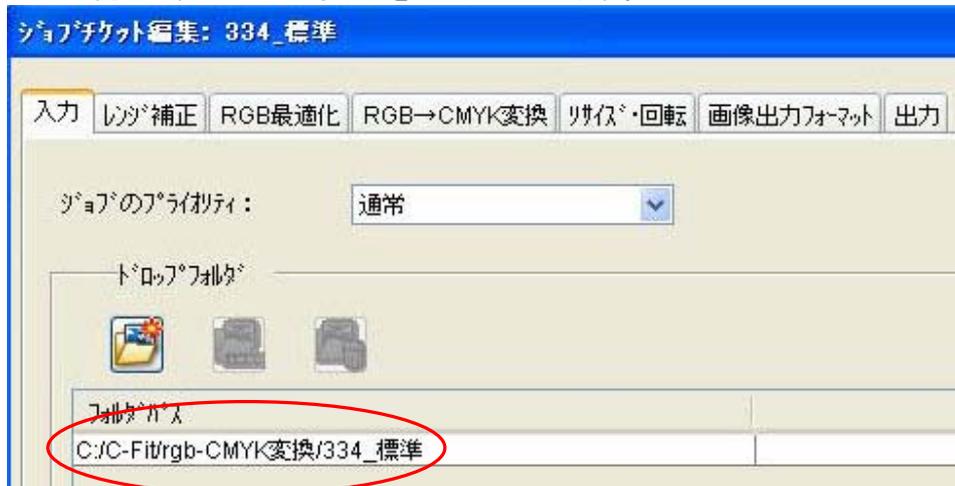
ジョブチケット情報の復元方法等の詳細については、C-Fit インストール CD の下記フォルダ内にある「C-Fit リストアツールユーザーガイド」をご参照下さい。

■ マニュアル保存先 <CDドライブ\Manual\Japanese\RestoreTool>

C-Fit で設定している入力フォルダ/出力フォルダ/エラーフォルダを親フォルダごとバックアップします。

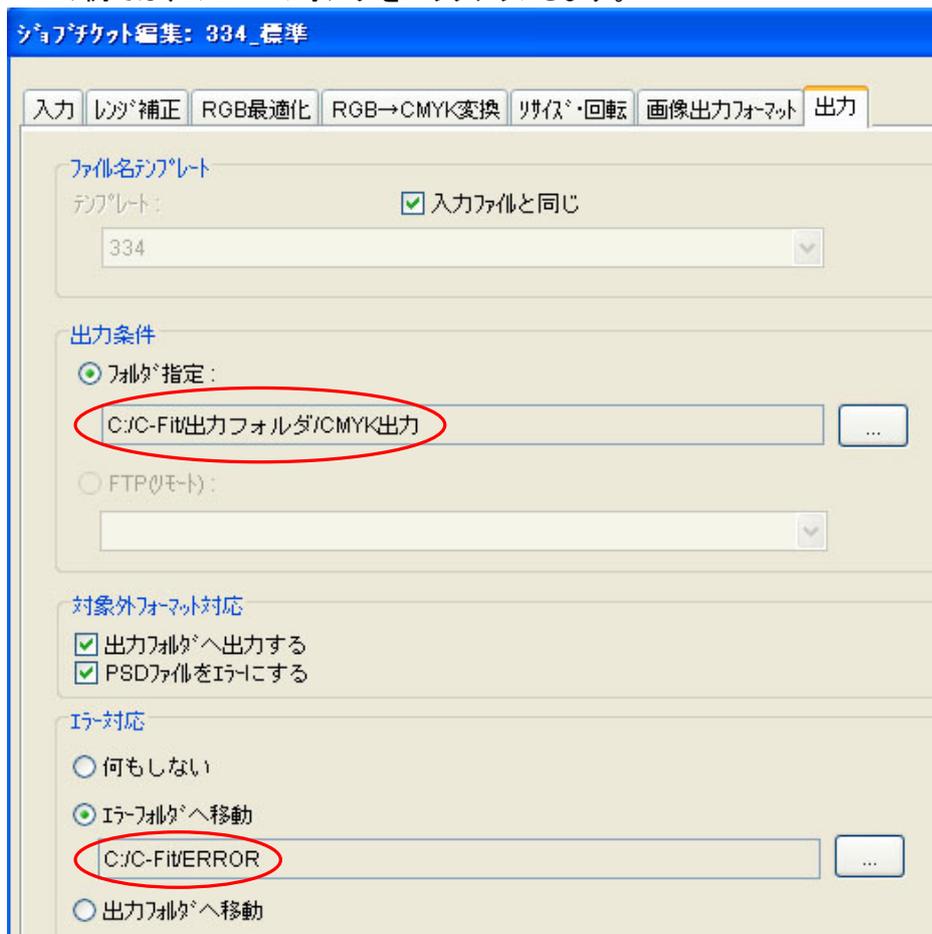
例)334_標準の入力フォルダ

この例では、C/C-Fit フォルダをバックアップします。



例)334_標準の出力フォルダ/エラーフォルダ

この例では、C/C-Fit フォルダをバックアップします。



C-Fit セットアップツールのバックアップ方法

設定/環境設定で環境設定画面を開き、スクリーンショットを保存します。
設定自体を保存する機能はありません。
セットアップツールを再設定する場合は、この画面と同じ設定にします。

